

# さかえ

## 市議会だより

2020年  
No. 144  
2月5日



みんなの幸せを祈ってキャンドルサービス

### 目次

議案に対する主な質疑等	P 2
提出議案と採決結果	P 4
一般質問	P 5
各常任委員会・議会運営委員会	
視察研修報告	P 11
議会日誌	P 13
市民の声、おらがまち紹介等	P 14



## みなみ保育所の クリスマス会

お星さまになっておゆうぎ  
～出し物「ポンポンポップコーン」～

## 令和元年第4回定例会（12月定例会）

12月定例会は、12月3日～16日まで14日間の会期で開かれ、人事案件3件・補正予算3件・条例の制定及び一部改正13件・その他4件を可決しました。また、次期食料・農業・農村基本計画に関する請願を採択。それに伴う意見書の議会案1件を可決し、国の機関に送付しました。

山形市との連携中枢都市圏形成に係る議第66号については、3議員の討論（反対2、賛成1）が行われるなど議論が分かれていましたが、賛成多数により可決となりました。



## 同 意

市教育委員会委員の任命

國井 晴彦さん（石田）

三泉財産区管理会財産区管

理委員の選任

菊地 直人さん（上河原）

秋場 一清さん（雲河原）

土田 由美さん（道生）

渡辺 光雄さん（中河原）

秋場 尚弘さん（入倉）

大沼 勇市さん（下河原）

日塔 毅さん（上河原）

高松財産区管理会財産区管

理委員の選任

川越 孝男さん（谷沢）

大沼 長吉さん（八楸）

加藤 誠さん（米沢）

佐藤 傳さん（谷沢）

小野 光雄さん（高松）

大沼 光弘さん（八楸）

日塔 博さん（清助新田）

## 議案に対する主な質疑等

### 条例関係

寒河江市水道給水条例の一

部改正

議員 指定給水装置工事業者に係る手数料について、更新は無料から1件につき5千円、新規は1件につき3千円から1万円に改正するとのことだが、算定基準をお聞きしたい。

グでの取得となったのか。

答弁 なか保育所については、建設開始時点で当該地に借家があり、居住者がおられました。このたび、その方が退去され、所有者の打診もあり、車両の通行確保や駐車場として有効に活用できるとの判断から取得しようとするものです。

みなみ保育所については、相手方からの申し出を受け形になります。保育所建替工事時の送迎車両等の駐車スペース確保のほか、新保育所完成後に入口を広く取れるため駐車台数を多く確保できることや、指定避難場所として避難者のスムーズな移動にもつながると判断したものです。

さくらんぼマラソン大会負担金

議員 来年度の大会をPRするためと伺ったが、なぜ今年度の補正予算に計上したのか。



答弁 当大会については、PRが不足しているとの声が寄せられています。このため、年度が明けてから行う予定のPRを前倒しして進めていきたいというのが主な理由になります。

議員 具体的なPR方法は、

答弁 県内放送局のうち2社を選定しテレビでのPRを行うほか、東京ドームで開催される「ふるさと祭り東京2020」というイベントにブースを設けてPRを行う予定です。

商店街消費喚起イベント補助金

議員 補助事業の内容は、

答弁 寒河江市物産連絡協議会と一店逸品会の2団体が、初市で販売セールを実



一般会計補正予算（第5号）

なか保育所、みなみ保育所の用地取得

議員 なぜ、このタイミング

### 予算関係

現時から見て現在の消費者物価指数は約3倍になっています。また、申請の受け付け、審査、データの入力、指定書の交付、技術的な基準及び事務手続きに関する説明等の時間も勘案して、再計算したものです。

施するお知らせとしての広  
告費等へ補助するものです。

## その他

**山形市との間における連携  
中枢都市圏の形成に係る連  
携協約の締結に関する協議**  
議員 さまざまな項目を山  
形市と連携して取り組むと  
のことだが、本市が不利益  
を被ることはないのか。  
**答弁** お互いの自治体にと  
って、メリットがあるよう  
なウィンウィン(相互利益)  
の関係を保ちながら協議を  
していく予定です。

## 反対討論

この議案に対し2人の議  
員が反対討論を行いました。  
議員 連携中枢都市圏構想  
の根本的な狙いとして、近  
隣自治体間で公共施設や行  
政サービスを連携すること  
を通じて「集約化」を図ろ  
うとするものである。広域  
連携が実現すれば、市民の  
声を行政サービスの中心に  
なる山形市まで届けなければ  
ならなくなる。広域連携

は、合併が進まなかった地  
域を合併に代わる制度で取  
り込もうとするものである  
と考える。以上のことから  
この議案に対して反対する。  
議員 連携中枢都市圏協約  
締結に当たって最も大切な  
ことは、まちづくりの将来  
像が住民福祉の増進になる  
のかどうかである。議会で  
承認されれば今後内容を示  
していく、議会の承認で変  
更や離脱もあり得ると、最  
初から締結ありきの提案と  
言わざるを得ない。特に定  
住自立圏も連携中枢都市圏  
も、東京一極集中の進行や  
地方圏の衰退、地域格差の  
是正に対応した政策である  
とは思えない。山形市にヒ  
ト・モノ・カネ等が集中し、  
地域格差が一層顕在化する  
ものと考えられる。以上の  
ことから、この議案に対し  
て反対する。

## 賛成討論

この議案に対し1人の議  
員が賛成討論を行いました。  
議員 この連携協約は、山

形市と寒河江市が圏域全体  
の経済成長のけん引、高次  
都市機能の集積・強化及び  
圏域全体の生活関連機能サ  
ービス向上の取り組み等を  
連携して実施することによ  
り社会経済が維持され、住  
民の暮らしを支えることが  
可能な圏域を形成すること  
が目的である。山形市と連  
携を取ること、高度なサ  
ービスを市民に提供できる  
こと、そして経済上、経営  
規模が大きくなればそれだ  
け生産性や経済効率を上げ  
ることができる。これらの  
メリットを生かせば市政発  
展につなげられると考える  
ため、この議案に対して賛  
成する。



## 意見書(抜粋)

### 次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書

わが国は飽食の時代を迎えて久しく、国民は日々の生活の中  
で、食の裏側にあるさまざまなリスクを認識することが難しく  
なっている。

そうした中で、今後とも国産農畜産物の安定供給を確保し、  
持続可能で豊かな食生活を守り続けるために、現行の食料・農  
業・農村計画にある不測時の食料安全保障に止まらず、平時よ  
り「質」と「量」の両面で食料安全保障の確立を目指す必要が  
ある。

現在、政府において、当基本計画の見直しに向けた検討が行  
われているが、見直しに当たっては、食料安全保障に資する基  
本政策を確立する観点から、生産面及び消費面からの対策を明  
記し、その実現に向けた具体的取り組みを進めることが必要で  
ある。

については、食料安全保障に資する基本政策の確立に向け、左  
記のとおり強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

### 記

政府は、食料・農業・農村基本計画の見直しに当たり、次の  
提案事項を反映すること。

- 1 食料安全保障を確立するための将来像の具体化
- 2 消費者の信頼・理解拡大に向けた政策の強化
- 3 国産農畜産物安定供給のための生産基盤強化と地域政策の強化
- 4 次期基本計画の実践に向けた政策推進等

令和元年12月17日

山形県寒河江市議会議員 柏倉 信一

提出先／内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、  
農林水産大臣

# 令和元年第4回定例会（12月定例会）の提出議案と採決結果

議案番号	議案名	採決結果
議第51号	寒河江市教育委員会委員の任命について〔任期満了に伴い1人を任命するもの〕	同意(全会一致)
議第52号	寒河江市三泉財産区管理会財産区管理委員の選任について〔任期満了に伴い7人を選任するもの〕	同意(全会一致)
議第53号	寒河江市高松財産区管理会財産区管理委員の選任について〔任期満了に伴い7人を選任するもの〕	同意(全会一致)
議第54号	令和元年度寒河江市一般会計補正予算(第5号)〔なか保育所及びみなみ保育所の用地取得に係る公有財産購入費や史跡慈恩寺旧境内への案内板設置等、1億2,185万5千円を追加〕	可決(全会一致)
議第55号	寒河江市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の制定について〔コミュニティセンターを新たに設置及び管理するため制定するもの〕	可決(全会一致)
議第56号	寒河江市職員定数条例の一部改正について〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正並びに地方公営企業法の規定を下水道事業に全部適用することに伴い、所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第57号	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、関係条例の整理を行うため制定するもの〕	可決(全会一致)
議第58号	寒河江市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正による会計年度任用職員制度の創設に伴い、非常勤職員の育児休業について所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第59号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、特別職に属する非常勤の職が限定されたため所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第60号	寒河江市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について〔地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について定めるため制定するもの〕	可決(全会一致)
議第61号	寒河江市営住宅条例の一部改正について〔市営住宅の火災に伴い、管理戸数の変更を行うもの〕	可決(全会一致)
議第62号	下水道事業の地方公営企業法全部適用に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について〔地方公営企業法の規定に基づき、下水道事業に法の規定の全部を適用することから所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第63号	寒河江市下水道条例の一部改正について〔成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の公布を受けて、所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第64号	寒河江市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について〔地方公営企業法の規定に基づき下水道事業に法の規定の全部を適用すること及び規定を整備するため、所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第65号	寒河江市水道給水条例の一部改正について〔水道法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令の施行に伴い、所要の改正をするもの〕	可決(賛否表参照)
議第66号	山形市との間における連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結に関する協議について〔山形連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結について、山形市と協議するもの〕	可決(賛否表参照)
議第67号	指定管理者の指定の期間の変更について〔市立みなみ保育所が令和3年度に民設民営化し新たに設置することに伴い、現行の指定管理者の指定期間を1年間延長するもの〕	可決(全会一致)
議第68号	土地の取得について〔史跡慈恩寺旧境内ガイダンス施設等整備事業用地を取得するもの〕	可決(全会一致)
議第69号	市道路線の認定について〔6路線を認定するもの〕	可決(全会一致)
議第70号	令和元年度寒河江市一般会計補正予算(第6号)〔ふるさと納税の増加に伴う基金積立金及び返礼品等経費の追加や山形県人事委員会勧告等に伴う給与費の追加等、11億673万2千円を追加するもの〕	可決(全会一致)
議第71号	令和元年度寒河江市介護保険特別会計補正予算(第2号)〔山形県人事委員会勧告を踏まえた一般職の給与改定及び人事異動に伴う給与等経費の調整のため、4万5千円を減額するもの〕	可決(全会一致)
議第72号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例及び寒河江市立病院事業の管理者の給与等に関する条例の一部改正について〔山形県人事委員会勧告を踏まえ、特別職の期末手当の支給月数を改定するため、所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
議第73号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について〔山形県人事委員会勧告等を踏まえ、給料月額、勤勉手当の支給月数及び住居手当等を改定するため、所要の改正をするもの〕	可決(全会一致)
請願第2号	次期食料・農業・農村基本計画に関する請願	採択(全会一致)
議案第3号	次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書の提出について	可決(全会一致)

## 議案採決賛否表

議案番号	議席番号 議員氏名																採決結果
	1 柏倉 信一	2 太田 陽子	3 鈴木みゆき	4 安孫子義徳	5 月光 裕晶	6 後藤健一郎	7 伊藤 正彦	8 渡邊 賢一	9 古沢 清志	10 佐藤 耕治	11 太田 芳彦	12 沖津 一博	13 國井 輝明	14 荒木 春吉	15 木村寿太郎	16 阿部 清	
議第65号	※	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第66号	※	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	可決

○は賛成、×は反対、※議長は採決に加わらない。



佐藤 耕治  
議員

## 安心して栽培できる さくらんぼのために

①作業効率を考えた低樹高・長寿命の仕立て型を取り入れ、道路・水・電気・高温・防霜対策や休憩・トイレ設備の整った水はけのよい適地に、地域ごとにさくらんぼ団地を計画してはどうか。

②ビニールの自動被覆機械や自動撤去作業機械、高性能選果機、自動パックバラ詰め機械の開発普及を図り、スマート農業を推進してはどうか。

**市長** ①市では、紅秀峰のミニ団地造成等の取り組みを支援してきました。団地造成には課題がありますが、地域で団地化に取り組み方向で調整できたなら、市として実現に向け支援する考えです。

②ご提案の機械は、実現し普及されれば栽培の効率化等の面で効果があります。市としては農業者へ、スマート農業の情報提供や技術に触れられる機会をつくり、農業者の意向を捉えて取り組む考えです。



夢のあるさくらんぼづくり

## 収入保険制度へ加入し 農業経営の安定を

将来の本市農業のけん引役である農家等へ助成金を交付し、加入促進を図れないか。

**市長** 収入保険制度に対して、市独自の補助金制度を創設することは、その他の共済事業との兼ね合いも考慮する必要があります。検討課題だと考えております。まずは関係機関と連携し、収入保険制度のメリットを農業者に伝え普及を推し進めていくとともに、加入条件となる青色申告実施者の拡大に向けて農業者への働き掛け等を行い、安定した農業経営ができるような環境づくりに努めてまいりたいと考えております。



渡邊 賢一  
議員

## 新たな発想による 若者の市政参加推進を

①市民アンケートの集約結果を見ると、若者の市政への関心の薄さが顕著に出ている。安倍首相の桜を見る会の疑惑隠しなどが政治不信を助長し、若者に悪影響を及ぼしていると思われるが、具体的に無関心になっていくことについて、市長の認識をお聞かします。

②若者の探求型まちづくり参加事業として「三十路式」を開催してはどうか。

**市長** ①若者から市政に関心を持っていただくことは大変重要でありますので、今後、若者が集まるイベントの開催に合わせたアンケートの実施や市政情報の提供など、気軽にご意見をいただける環境づくりに取り組んでまいります。

②生まれ育ったふるさとにゆかりのある方たちが集い交流を深めることは、素晴らしいことです。地域の活性化のためにも事業を実施する団体を支援してまいります。

## 地域医療の拠点「市立病院」統合 再編の方向性は

①厚生労働省により市立病院も統合再編の議論が必要と実名公表されたが、地域医療構想による新改革プランとの整合性について伺う。

②寒河江西村山地域の特殊性を踏まえ、医療提供体制をどのように考えているのか。

①**病院事業管理者** 当院の新改革プランは地域医療構想に沿って策定しており、今後の再編統合についても地域医療構想の会議を受けて検討していくものと考えます。

②**市長** 将来的に市立病院等4つの公立病院を含め地域医療体制をどうするか県や保健所から指導を仰ぎ、寒河江市西村山郡医師会からも意見を拝聴しながら西村山地域の中核として、役割を果たしていかねばならないと考えます。



地域医療の拠点「市立病院」



鈴木みゆき  
議員

**台風19号の影響による  
最上川の増水を警戒**

①10月12日に気象庁が洪水警報を発令し、翌日注意報に切り替わった。本市の対応はどうだったのか。  
②護岸の侵食への対応を県や国に要望すべきではないか。  
③洪水ハザードマップを基にした、市民が防災意識を高めるような対応を考えているか。



侵食されている最上川の護岸

**課長** ①発令されている気象情報だけでなく、国・県が公表している河川の水位情報などを勘案し対応しました。  
**市長** ②護岸等の危険箇所について

ては、防災・減災の観点からも対応が必要であり、情報収集をして関係機関に要望してまいります。

③洪水ハザードマップの有効活用と認知度向上に取り組むとともに、説明会の開催や災害時対応マニュアルの整備を検討し、コミュニティのつながりを深め、地域の防災力向上に努めてまいります。

**古河江、島東、三条、高松駅南側の  
新たな土地開発**

都市計画マスタープランに上げられている古河江、島東、三条、高松駅南側は農業振興地のため宅地開発は不可能だが、用途地域へ拡大することはあり得るのか。

**課長** 都市計画マスタープランに掲載されている指摘の地区ですが、現在は用途地域外となっております。ご質問の地区を用途変更し、宅地化したかどうかのことだと思いますが、用途地域である陵南地区の宅地開発が現在も民間開発により進められています。このことから、当面は現在の用途地域における開発状況、宅地化などの動向を見ながら用途地域変更について、検討していく必要があると思っております。



太田陽子  
議員

**幼稚園や保育所の副食費を無料に**

①幼児教育・保育無償化が昨年10月から始まったが、無償化による保育料の軽減費用は、本市でどのくらいになるのか。  
②幼稚園や保育所で副食費を払っている児童数と、その総額はいくらになるのか。

③軽減された財源を活用して、副食費の無料化を実施してはどうか。  
秋田県の半数以上、県内では尾花沢市などが無料化を表明している。ぜひ、本市でも実施してほしい。

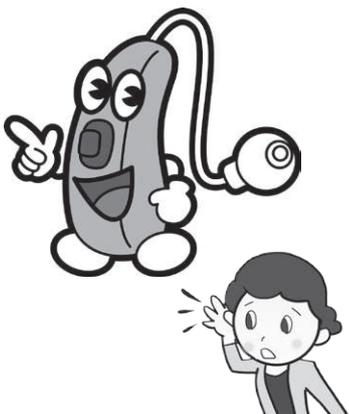
**市長** ①国からの交付税など現時点で不明確な部分も多く、具体的な金額の算出は困難な状況です。  
②3〜5歳までの子どもたち967人のうち、副食費を負担いただいている児童数は625人です。  
1カ月4500円で計算すると、総額で約3400万円となります。  
③全体の子育て支援という観点から地方負担財源などについて、来年度以降その制度設計がはっきり

した段階で事業化を検討してまいりますと考えています。

**加齢性難聴を改善する補聴器に  
助成制度を**

認知症の約35%は予防可能な9つの要因で起こり、中でも難聴が最大の要因とのこと。70歳以上の約半数が難聴との報告があるため、補聴器の使用に補助をしては。

**市長** 補聴器使用に対する支援は、身体障害者手帳保有の方への補装具給付事業と、軽度・中等度難聴児の方への補聴器購入支援事業があります。認知症予防の対策として、難聴になっても社会参加できる環境が重要と考え、老人クラブ等の団体に対し各種支援を行っています。難聴は認知症の一因との考えから補聴器使用の助成について、先進的な取り組みや国、県の動向等を注視してまいります。





台風19号の爪痕

台風19号への当局の対応は、避難所開設等適時適切であった。大規模自然災害の頻発に鑑み伺う。

①今回得られた教訓・改善事項は。

②防災マップ・洪水ハザードマップの説明会を地域の特性に合わせて、地区公民館や各分館等で実施することも必要ではないか。

**市長** ①夜間・暴風雨による移動困難、地域との連絡体制や要配慮者への対応、市民への避難情報発信等を課題として認識しています。今回の対応を検証し、今後の災害



伊藤 正彦  
議員

## 危機管理体制の充実を

発生時に迅速に対応できるよう早急に検討してまいります。

②防災意識をさらに強く持つていただくためにも地域の特性を踏まえた、想定される災害への説明会開催を検討してまいります。

## タイムリーでスピード感をもった 慈恩寺振興を

いよいよガイダンス施設整備が動き出したが、これは慈恩寺振興の始まりであるとの認識から伺う。

①今のアクセス道では、大型車の通行に支障がある。アクセス道の整備についての考えは。

②JRと連携し車体を本堂や三重塔、十二神将等で彩ったり車内アナウンスで慈恩寺をPRしたりすることはできないか。

**市長** ①慈恩寺ガイダンス施設へのメインルートは、醍醐小学校前を通り左折する県道日和田松川線を想定しており、そのルートを確立させた上で慈恩寺から箕輪までの農道などについて、アクセス道路の整備に取り組んでまいります。

②JR左沢線対策協議会を組織して利用促進等に取り組んでいることから、JRと連携し慈恩寺のPR方法を検討してまいります。



月光 裕晶  
議員

## 民家にまで出没した イノシシへの対策

①鳥獣被害防止計画の見直しは、検討しているのか。

②ついに一般家庭の庭にまで出没するようになったイノシシに対して、市民一人一人の意識を高めるためにも個人レベルでできる対策を周知徹底してはどうか。

**市長** ①イノシシ対策は今年度、西村山地区で捕獲事業が実施されるなど随時対応しています。本計画は来年度が最終年度であるため、県の計画の内容も踏まえ、次期計画においてイノシシ対策の強化等を検討してまいります。

②イノシシが近づく環境をなくす



イノシシに掘り返された庭

ことも大切であり、家庭菜園や果樹の適切な時期での収穫、廃棄物の適正処理、一人一人にごみ出しマナーを守っていただくなど、市報や市ホームページを利用して市民の皆さんへ周知を行っていきたいと考えています。

## 災害時の備蓄品と 避難所でのプライバシー保護

①液体ミルクやアレルギー対応食品、高齢者向けとろみ調整食品、介護食品等の特殊な食品は、備蓄してあるのか。

②避難所でのプライバシー保護対策は、どうするのか。

**市長** ①現在備蓄しているアルファ化米は注水量で白米、おかゆの二通りの調理が可能のため介護食に、また、27種類のアレルギーにも対応した食品です。液体ミルクは、不安なく供給ができるよう備蓄に向けて検討してまいります。

②避難所では多くの人が暮らすため、避難生活の変化に柔軟に対応する必要があります。現在着替え等のためのテントを備蓄していますが、さらにプライバシー確保に配慮し、間仕切りやテント等の備蓄品の拡充を行ってまいります。



古沢 清志  
議員

「健康で長生き」を目標に健康寿命延伸する社会を目指して

①本市の施策として、どのようなことを行っているのか。  
②健康寿命を支えるソフト・ハードの社会環境整備を充実させることが本市の行政施策と感ずるが、今後の方向性を伺う。

**市長** ①生活習慣病発症などを予防するため、30代からの健診と保健指導による健康意識の向上、さがいきいき100歳体操等の自主的な取り組みを推進しています。  
②「第2次 健康さがえ21」の中間評価を行っており、重点的な取り組みとして糖尿病予防の保健指導や減塩対策、受動喫煙防止の普及啓発など、関係機関や地域と連携し健康で長生きできる環境を整備していきたいと考えています。

防災対策の拡充

①寒河江中央工業団地の日中の人〇は、約5千人と膨れ上がる。発

災した際の避難場所としては、寒河江工業高校と中央工業団地第2号公園になっているが、全員が避難した場合、収容人数を超えることが予想される。この地域の安全な避難場所として、どのように考えているか。  
②熱中症を防ぐ、避難所へのエアコンの整備状況はどうか。

**市長** ①立地されている企業に対し、災害時の対応状況や避難行動の考え方を調査し、新たな避難所の指定や立地企業の施設利用の協力などを検討してまいります。  
②指定避難所30カ所のうち、11カ所にエアコンが設置されていますが、避難者が健康な避難所生活を送るためにも設置を検討する必要がありますと認識しております。



高田新町自主防災組織の炊き出し訓練



國井 輝明  
議員

中小企業にさらなる活力を

地域内の経済を循環させ、企業に活力を与え、地域経済をさらに活性化させるため、中小企業振興基本条例を制定すべきではないか。

**市長** 中小企業振興基本条例は、これまで以上に中小企業振興に関する本市の責務をより明確化し、市民の理解と協力を得ながら官民を挙げて地元中小企業の振興に努めることを定めるものであり、地域経済の活力維持、発展に資するための条例であると考えております。同条例の制定については、他の自治体の動向や事例等を参考に



検討してきましたが、市内の中小企業の活力維持や地域の活性化を図るため、今後、関係機関等の意見を聞きながら制定に向けて準備を進めていく必要があると考えております。

学童クラブにおける今後の整備計画

①利用者の変動や施設が多数あるクラブを考慮した、今後の整備計画はどのようにするのか。  
②今後整備予定のねっこクラブを、どのように整備する考えか。

**市長** ①民間施設借用のクラブについては、教育委員会、学校とも十分協議を重ね、余裕教室や学校敷地内での整備を考えていきます。規模の大きいクラブでも待機児童が発生しないように、運営委員会と連携し対応してまいります。  
②3つのねっこクラブのうち、2つが民間施設での運営となっています。校外に移動せず、グラウンドや体育館を活用して安全に伸び伸びと過ごせることから、3つのクラブが学校の施設や敷地の中で運営できる方向で教育委員会、西根小とも連携し、早期整備ができるよう進めてまいります。



沖津 一博  
議員

## 古代ロマンと田代巨石群

田代地区には縄文時代に造られたと思われる田代巨石群、季節や時間、太陽、星との関係、星座オリオンに倣った山が存在している。これらに興味のある方からお出でいただき、都会では経験できないことを体験する拠点として、学びの里TASSHOを活性化させてはどうか。

**市長** 巨石につきましては、研究者や愛好者でつくるイワクラ学会主催のサミットが昨年9月に宮城県白石市で開催され、山寺の立石寺や田代地区の巨石を視察するとの記事を新聞で拝見いたしました。これまで、田代地区に存在する巨石に関しては、具体的なお話をお聞きしたことはありませんが、多くの方が訪れるきっかけとなれば地域の活性化につながるようになりますので、今後、地域の方々や専門家の意見をお伺いしてまいりたいと思っております。



春分の日に鏡石の間から昇る太陽

## 姉妹都市との友好交流

韓国人観光客、過去最悪の65割の減。政府間では、良い関係と言える状況にない。こんな時こそ次代を担う若者を含めた各般で、安東市とのさらなる交流を深めるべきではないか。

**市長** 姉妹都市締結45周年を記念して昨年5月に安東市を訪問し、ゴングョクセ権寧世市長と懇談いたしました。本市にはグリバーさがえ、安東市には安東湖があり、両市でカヌー競技が可能であることからカヌーをはじめとするスポーツを通じた交流について、お話をさせていただきました。今後、さまざまな分野において幅広い交流ができるような事業について検討してまいりたいと思っております。



後藤健一郎  
議員

## 寒河江公園の整備状況とこれからの維持管理は

①劇的に変わらないうと、市民の皆さんには伝わりづらい。平成25年度策定の寒河江公園再整備計画の進行状況は。

②同時進行で維持管理も行わなければならぬ。現在はさまざまな手法があるが、今後どのように考えているか。

**課長** ①これまで市道寒河江公園アクセス線の整備や市制施行60周年記念事業でつつじ園の拡張工事等を実施しています。本年度からは、さくらの丘と青空広場ゾーンへの整備に向けた公園用地と民地の



遊歩道(右側)が埋もれてしまっているさくらの丘の現状

境界復元に取り組んでおります。**市長** ②造園関係者からアドバイスをいただきながら、また、指定管理による管理委託・充実等ができるよう検討し、施設整備とともに進めていかなければならないものと考えております。

## 学習指導要領改訂で学校環境激変 子どもたちを中心とした取り組みを

学習指導要領改訂に伴い授業時間が増えるが、教員の働き方改革も喫緊の課題のため、行事等の見直しが進められている。さがえつ子たちが学習以外でも輝ける場所が必要と考えるが、その兼ね合いについて、市ではどう考え取り組んでいくのか。

**教育長** 小中学校では子どもたちの姿や地域の実情を踏まえて、各学校が設定する学校教育目標を實現するために「子どもベンチャー・マインド事業」や「さがえつ子ライフデザインセミナー」等、教科書以外の教材と人材を活用して特色ある活動を行っています。市としても学校・家庭・地域連携による魅力ある、また、特色ある学校づくりをこれまで以上に推進するよう指導と支援をしてまいります。



**安孫子義徳**  
議員

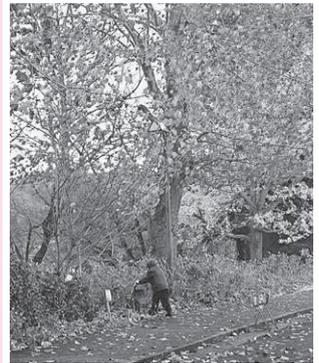
高齢者も安心して暮らせる  
優しい寒河江市のために

① 人生百年時代を迎える今、高齢者が増加することにより、認知症を患う方も増加傾向にある。本市では、認知症予防にどう取り組んでいるのか。

② 認知症高齢者が行方不明になった場合の対策はどうか。

③ 認知症患者を自宅にだけいさせるとは、いざというときは社会で探す仕組みを作っていかなければならない。道に迷う恐れがある認知症の方に対し、GPS機器等を導入する支援策を考えてはどうか。

**市長** ① 昨年6月に国より示された認知症対策推進大綱の基本理念に則し、社会参加による社会的孤立の解消や役割の保持に努めております。また、認知症対策として、生活習慣病予防等の保健事業と介護予防事業を一体的に展開する「予防」と、認知症を理解し地域で見守る社会を実現する「共生」を2



紅葉の中を散歩し  
気分をリフレッシュ

本の柱に据え、これらを車の両輪として進めてまいります。

② 平成25年度に「さがえ無事かえる支援事業」を整備し、県警と地域包括支援センターが連携した行方不明者の早期発見に向けた取り組みと、徘徊事例を想定した声掛け訓練を実施して、地域住民の方々による見守り活動の充実を図っております。

③ 県内で昨年度までにGPS利用に対し助成している市町はありますが、円滑な制度利用が図られていないようですので原因を探求しながら継続して「さがえ無事かえる支援事業」の普及と地域住民による見守り体制の充実を図ってまいります。また、GPS活用等のさまざまな先進的取り組みの情報収集に努め、認知症高齢者を抱えるご家族等の不安解消、見守り支援についても充実してまいります。



**阿部 清**  
議員

台湾斗南鎮との  
姉妹都市締結に向けて

台湾斗南鎮長は11月1日、10数人で本市を表敬訪問された。鎮長は「姉妹都市締結ができるように、さまざまな取り組みをしていきたい」、市長は「姉妹都市締結に向かつていけないか」とあいさつし、市長から鎮長へ本市スポーツイベントへの参加等を要請した。平成29年にも同じ一般質問をしたが、市長は姉妹都市締結に向けてどう考えているのか。

**市長** 斗南鎮長さんとは、さまざまな分野での交流の提案など、広く意見交換をさせていただきました。台湾は世界最大の自転車メーカーを輩出している自転車産業国であり、サイクルスポーツイベントでの交流等を検討したいと思っております。鎮長さんより、姉妹都市についてお話がありましたことは重く受け止めており、今後、市民レベルでの交流と対話を重ねてまいります。

後世に伝える自然災害の伝承碑

国土地理院は、昨年7月の相次ぐ大規模自然災害を受け、過去に起きた津波や洪水等の情報を伝えるモニュメントの地図記号を作成し、後世に伝えようと情報収集を始めた。本市でもこれらを調査し、防災に役立ててはどうか。

**教育長** 自然災害伝承碑に類するものとして「波除地蔵」の他に、洪水の起こった場所に築かれたと伝えられている「法華供養塔」があります。これら石造文化財につきましては、調査を行ってまいりました。市内の歴史遺産から防災意識の向上につながるよう、今後とも洪水・土砂災害等を知ることができるような石碑等の把握に努め、情報を発信してまいります。



在りし日の波除地蔵。今は日田共同墓地に仮置きされている。

# 視察研修 報告

議会の充実と行政課題解決のため、各  
常任委員会と議会運営委員会が視察研修  
を実施しました。その概要を報告します。  
また、詳しい内容については、市議会  
ホームページへ掲載しております。



市議会ホームページ  
視察研修報告へのア  
クセスQRコード



## 総務産業常任委員会

令和元年10月7日～9日

### 美祿魅力発掘隊の取り組みに ついて

東京都出身の美祿魅力発掘隊員は、赤郷地区振興会に在籍して3年間活動を行った。まず、中学生以上の住民へ赤郷の地域づくりに関するアンケート調査を実施。回答は「買い物が不便」や「通院等の移動支援が重要」が多くを占めた。これらの回答を受けて、地域づくり座談会を実施し情報を住民と共有した。また、隊員は地域の将来計画「夢プラン」の策定に関わり、全38回の会議のすえ完成。夢プラン実現に向けた事業の1つとして、交通弱者対策に市と地域住民と協力しながら、閉校した小学校で使用していたスクールバスを2台購入するとともに、さまざまな講習

会や会議を経て、平成31年4月5日から運行開始となった。

他にも、活動状況を地域の皆さんへ報告する「月刊赤郷こんとこ」秋吉台の麓 赤郷へ移り住みて」を19回発行したことなどがある。任期が終了した現在も同市において、今度は地域づくり支援員として引き続き活躍されている。

### 豪雨災害対策について

#### 「山口県山陽小野田市」

山陽小野田市は、地盤が低く川や海、山や崖が近い地形のため、平成3年～30年までの間で豪雨や台風による大きな災害を5回経験している。

災害時における情報伝達方法は、  
▽防災行政無線▽広報車▽自治会長や民生委員への電話連絡▽市ホームページ▽防災メール▽防災ラジオ▽テレビ（Lアラート）▽ヤブー防災速報ーを活用している。



山陽小野田市の担当者から説明を受ける議員

中でも、電子機器に不慣れな方やスマートフォンを利用していない高齢者に対し防災ラジオを推奨しており、1台9千円のところを2千円で販売。普段はFMラジオを聞くことができ、市から緊急情報が出されると自動起動し、大きな音で知らせるシステムとなっている。災害時の主な初動対応としては、ライフラインの情報収集や避難情報の発令、防災メールの送信等を実施すること。一方平時は、防災出前講座や防災訓練への参加・指導等を行っている。

また、自主防災組織の組織率は、平成31年4月現在91・27割で、市中心部や山間部の地域が未組織となっている。

下関市消防団は、1団・5方面隊・31分団・129部で組織しており、団員数は定員1977人に対し実員1845人（うち女性68人）で、充足率93・3割となっている。年齢は40歳代が一番多い。主な取り組みとしては、現役消防団員の関係者が出演したテレビコマーシャルを制作。県内の民間放送局で、平成28年10月～29年1月まで朝と夕方に全51回放送し、消防団の活動を広くPRした。また、大手企業のコカ・コーラウエスト株式会社も消防団をデザインした自動販売機と資源回収ボックスを市内9カ所に設置し応援。デザインを通して市民へPRするだけでなく、売上金の約20割が同市へ寄付されている。

女性消防団員の活動は活発で、中でも平成27年度に行われた第22回全国女性消防操法大会で46チーム中、準優勝を果たした。さらにテレビや新聞の取材に積極的に協力し、女性目線での団員募集にも取り組んでいる。

### 消防団への入団促進の取り組み について

#### 「山口県下関市」

# 厚生文教常任委員会

令和元年10月23日～25日

## ①健康寿命全国トップの要因に ついで

山梨県は平成22年以降の健康寿命平均値が、男女ともに全国トップとなっている。県が分析した要因としては▽地域の特性に合った保健活動により、生活習慣病の発症予防ができていること▽健康を自覚している人が多いこと▽人と



山梨県の担当者と活発な質疑応答を行う議員

人とのつながり・結束力が強いこと▽65歳以上の高齢者の就業率が高く、役割や責任をもって生活していること―を挙げている。

ある特定の要因が決定的に影響を及ぼすということではなく、本人の健康意識や地域性、行政支援など、複数の要因が重なり合うことで良い結果につながっているとのことであった。

## ②がん対策についで

現在、国内において死因の第1位は悪性新生物（がん）となっている。山梨県でも同様の状況から、同県では平成30年～35年を計画期間とする第3次山梨県がん対策推進計画を策定。目標として▽科学的根拠に基づいたがん予防・がん検診の充実▽患者本位のがん医療の実現▽尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築―を掲げている。

これにより、75歳未満年齢調整死亡率を10年前に比べ、おおむね2割減少させるとしている。

また、同県では特定健診とがん検診が同時にできる総合健診方式を導入しているため、がん健診の受診率が高くなっている。

## DWIBS法を利用した新たな 総合がん検診について

「静岡県焼津市」

DWIBS（ドゥイブス）検査とは、磁気共鳴画像装置（MRI）を利用して、体の広い範囲にがんや転移がないかを探す全身検査法のことである。焼津市立総合病院では、平成28年から同検査をがん診療に導入しており、翌年からは、同検査と採血を組み合わせた「総合がん検診」を実施している。

同検査の最大の特徴は、MRIを利用することにより被ばく・痛みがないなど、患者の負担が少ないことである。同様の事例は全国でも少なく、ふるさと納税の返礼品にも同検査が組み込まれるなど、がんの早期発見・治療に向けた取り組みとして大変興味深いものであった。

## スマートウェルネスみしま推進 事業について

「静岡県三島市」

スマートウェルネスみしま推進事業とは、健康の視点を従来の保健・医療分野のみならず、市政のあらゆる領域に取り入れた「健康



若い世代をターゲットにしたユニークな企画

都市づくり」のことである。

同事業の推進に当たり、多数の取り組みが企画されている。医療費分析、歩きたくなる道づくり、健幸マイレージ、株式会社タニタ等との協働事業など、実に多彩である。特に体脂肪の減少量を競い合う「脂肪燃えるんピック」などの、健康に対する関心が低い若い世代をターゲットにした企画は興味深い。市民が楽しみながら自分に合った方法で健康づくりを行う環境が整っている。その結果、市民の幸福度や体を動かす割合が上昇するなど、成果が表れている。



桐生市の担当者が説明する内容に耳を傾ける議員

議会運営委員会

令和元年11月7日～8日

まちづくり討論会について

群馬県桐生市

桐生市議会では、開かれた議会、市民参加の促進、桐生らしい地方自治の実現を目指し、平成23年7月から議会報告会・意見交換会を行っている。そのような中で、市長連絡協議会からの呼び掛けを契機とし、平成28年10月にまちづくり討論会を実施した。

意見交換会は誰でも参加可能であるのに対し、同討論会は対象を

特定し、その団体に応じたテーマを設けている。各団体が抱えている課題など情報交換を通して明らかにするとともに、まちづくりに対する考え方などについて議論を交わしている。また、同討論会では議員側から質問を投げ掛けることができ、議会報告会・意見交換会と違った住民参加の形になっている。

① 常任委員会の動画配信について  
「埼玉県上尾市」

全国的に見ると、本会議と比較して常任委員会（本会議で付託された議案等を詳しく審議するため）に設置された委員会（の動画を配信している割合は、圧倒的に低い状況である。

上尾市議会では平成17年から本会議の動画配信を行っており、常任委員会の配信についても議会改革特別委員会において検討。その結果、令和元年6月から配信するに至った。また、配信システムや方法、経費面等についても検討し、既存システムを使用した録画配信で行うこととした。

市民の反応を見ると「同時開催

される委員会を両方見ることができ「や」「わざわざ足を運ばなくてもいい」等の好意的な意見が多く、おおむね好評である。一方で対象委員会の拡充や、ライブ中継の実施等の改善を求める意見もあるとのことだった。

② 議会における災害発生時の対応について

上尾市議会では議員への緊急連絡方法として、一斉にメールでお知らせする体制を取っている。災害発生時の課題として▽地域

防災計画に議員の位置付けがない▽災害時における議員の安否確認方法▽議会側で災害対策支援本部を設置した場合のルール作り―等を認識されていた。そこで、平成29年3月に「議会の危機管理体制のBCP（損害を最小限に抑え、事業の継続・復旧を図る計画）」を協議し始めた。最終的に当局側からも対応要領やマニュアルについて確認を受け、平成30年11月に正式に制定。今後は市総合防災訓練に合わせ、市議会対策支援本部の設置及び安否確認連絡訓練を実施予定とのことであった。

議会日誌

11月6日～2月5日

11月6日	第107回全国市議会議長会評議員会、会派視察研修「寒河江みらい」(～8日)
7日	議会運営委員会行政視察(～8日)
11日	山形県市議会議長会議長会報告研修会
12日	山形県市議会議長会第142回定期総会
13日	議会報告会(本橋・中河原)
14日	議会報告会(みずき)
15日	議会報告会(元町・入倉・中郷)
18日	山口県柳井市議会視察団対応、議会報告会(藤)
20日	議会報告会(美原町・陣ヶ峯)
21日	寒河江市スポーツ議員連盟役員会
25日	山形県市議会議長会県知事及び県議会議員への実行運動
28日	議会運営委員会、議会運営委員会協議会
12月3日	第4回定例会(～16日)、さがえ市議会だより編集委員会
5日	総務産業常任委員会協議会
9日	寒河江市議会改革・活性化検討委員会
13日	厚生文教常任委員会協議会
16日	議会運営委員会、議会運営委員会協議会
17日	寒河江市スポーツ議員連盟役員会
23日	市議会・市農業委員会親善入部一ツ交流会
25日	さがえ市議会だより編集委員会
1月10日	村山市議会視察団対応、西村山地方総合開発推進委員会重要事業に係る県知事との懇談会
15日	さがえ市議会だより編集委員会
17日	会派視察研修「寒河江みらい」創生寒河江の会(～17日)
21日	議員懇談会、総務産業常任委員会協議会、寒河江市議会改革・活性化検討委員会
22日	会派視察研修「寒河江みらい」(～23日)
28日	会派視察研修「木高会」(～30日)
29日	総務産業常任委員会と寒河江中央工業団地振興協会との意見交換会
2月4日	上山市議会視察団対応
5日	第108回全国市議会議長会評議員会

※会派視察研修で表記している会派名は、寒河江市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第2条第1項の規定により届けられた名称です。

## 市民の声



本町

野口康一郎さん  
のぐちこういちろう  
 (市商工会青年部部長)

私たちが所属している市

商工会は、地元で商売をしている方が集まった団体です。我々青年部は、若手の経営者・後継者の立場から、日々地元をどうすればよくなるかを考えた活動を行っています。近年行っているお子さん向けの職業体験イ

ベント「コードモシゴト」は、商売を生かした地域貢献活動の1つで、自分たちが生まれ育った地元をさまざまな仕事があることを知ってほしい、地元を少しでも好きになってほしいとの思いから生まれました。

人口減少のこれからの時代、地域に魅力がないと人はどんどん減っていき、地域がなくなってしまう恐れがあります。そうならないよう今住んでいる全員が当事者意識を持ち、地域全体で考え行動していかなければならないと思います。

## おらがまち紹介

上町町会長 (白岩)

横山 稔さん  
よこやま みのる

上町は43戸、124人の小さな町会です。空き家も増えていますが、若い家族が移り住み子どもたちの姿も見られ、ちよつとだけ明るさも増えています。

町会の皆さんが「元氣」になるために心掛けていることが3つあります。①人会同うこと②人と話をするこ

## 第1回定例会の日程(予定)

3月2日(月)	本会議(議案上程、説明)
4日(水)	本会議(一般質問)
6日(金)	本会議(一般質問)
9日(月)	本会議(質疑)、予算特別委員会、各委員会・分科会
11日(水)	予算特別委員会、本会議(採決・質疑)、各委員会・分科会
12日(木)	各委員会・分科会
13日(金)	各委員会・分科会
17日(火)	各委員会・分科会
23日(月)	予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも午前9時30分から開会します。  
 ※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局(☎86-2111)にお問い合わせください。

## 議会の傍聴においでください

本会議を傍聴するには、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。議会の会議は原則公開です。

また、インターネットによる本会議等の議会中継を行っていますので、ぜひご覧ください。

■第1回定例会の請願・陳情の締め切り  
 日時は、2月25日(火)の正午です。



地域のいも煮会用の「かまど」づくり

と③時々には地域の人と一緒においしいものを食べることでです。

週1回は年齢に関係なく、参加できるサロン会があります。100歳体操をして、時々ですがおいしいごちそうを食べ、お茶を飲み、みんなと話をする会です。「木曜日、みんなに会える」と思うとワクワクする。楽しみ」という声が聞こえてきます。

若い人も近い将来、地域の中で楽しい時間を見つけたいと思うようになります。そのことを考えると、前述の①③の場をつくることに町会としてもお手伝いしたいと思います。

## 編集後記

明けましておめでとうございませう。

今年(ね)は子年、十二支の始まりの年です。子は本来「孳」という字で、種子の中に新しい生命が兆し始める状態を指します。子年生まれの方は年女。長いこと歩いてきたものだ。

「道は一を生じ、一は二を生じ、二は三を生じ、三は万物を生ず」―老子より。この三は人間関係です。人は皆、潜在的に自分の創造力を発揮し、偉大な目標を達成する能力を持っている。それぞれ引かれるもの同士が集まり人間関係が築かれ、その中で生かされ成長する。私にはそう見えます。人によって成長させていただけることに感謝です。

今年(ね)は皆さまにとって、新しい年になりますようお祈り申しあげます。

(鈴木)